

「観光の足」確保に向けたタクシー利用利便性向上実証実験の概要

背景・目的

- タクシーのドライバー不足により、主要交通結節点においても、円滑にタクシー等の二次交通にアクセスできないという状況が生じている。また、観光は地方創生の切り札として期待される重要な分野であるが、交通利便性等の課題がある。
- 交通結節点や観光施設においてタクシーへ円滑に乗車でき、四国への来訪者が安心・安定して二次交通を利用できる環境を整備することで、面的な周遊観光の促進、四国地域のエリアの魅力向上、観光客の増加、公共交通の利用者増加を図る。

取組内容

香川県内の主要交通結節点や観光施設を対象に、以下のサービスの実証実験を行い、有効性の検証を行う。

①乗り継ぎ円滑化サービス

主要交通結節点においてタクシーへの乗り継ぎの円滑化のため、乗車中の公共交通機関（1次交通。JR特急列車、高速バス、旅客船）の中から、ウェブフォームで下車後の交通結節点で乗車するタクシーを手配するサービス

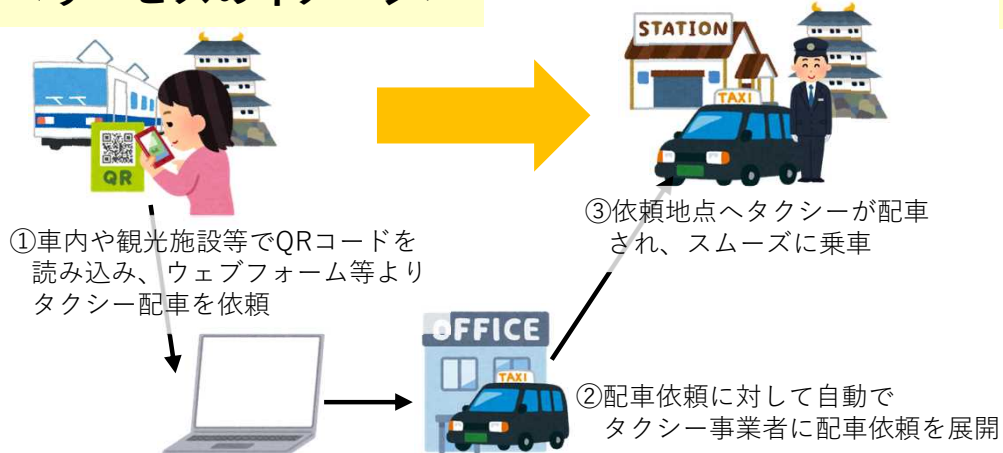
②手配円滑化サービス

周遊観光の促進の観点から面的な移動手手段の確保のため、観光施設及び観光施設近隣の交通結節点において、ウェブフォームで当該地点で乗車するタクシーを手配するサービス

※実証期間：令和7年8月1日～12月31日（瀬戸内国際芸術祭の夏会期以降）

※実施主体：香川県タクシー利用利便性向上協議会（会長：香川高専宮崎耕輔教授、事務局：香川県タクシー協同組合）

<サービスのイメージ>



<対象地点>

